

修士(公共経営学)ディプロマポリシー

公共経営・政策分析プログラム

国際大学学則で規定されている本学の目的と国際関係学研究科の教育研究上の目的を達成するために、公共経営・政策分析プログラム(PMPP)は修士(公共経営学)の学位を取得するために必要な修了要件と学修目標を次のとおり定める。

<課程修了の要件>

在学期間に関する要件

学生は、修士課程に2年(6学期間)以上在学しなければならない。ただし、優れた業績を上げた者については、在学期間に関し、1年以上の在学にて、修業年限を満たしたものと認める場合がある。

授業科目の履修及び修了に必要な単位数に関する要件

学生は、PMPPで指定された履修要件に従って、指定必修科目、選択必修科目および自由選択科目を履修し、必要な単位数を取得しなければならない。修了に必要な単位数は、修士論文を提出する場合は合計40単位以上、研究レポートを提出する場合は合計44単位以上とする。

単位認定

コースシラバスに明記された評価項目について審査したうえで、最終評価スコアが100点満点中60点以上であった学生に単位を与える。

修士論文/研究レポートの提出に関する要件

学生は、指導教員の指導の下で、審査基準を満たす修士論文または研究レポートを完成させ、期限までに提出しなければならない。

最終試験の要件

修士論文を選択した学生は、審査委員会が口頭により行う最終試験に合格しなければならない。研究レポートを選択した学生は、審査委員会が決定した実施方法により行われる最終試験に合格しなければならない。

GPAの要件

学生は最終学期の成績が確定した段階で、少なくとも2.5ポイント(4.0ポイント中)以上のGPAを取得していなければならない。

<学修目標>

修士(公共経営学)の学位課程では、以下のスキル、知識、学術的態度の修得を学位授与の条件とする。

知識

- 国や地方政府の基本的な役割や責任への知識
- 公共政策過程における重要な段階についての理解。また、各段階において重要な個人、団体等のアクターの役割についての理解。

- 公共政策における対立・係争を分析する能力。また、政策的な手段を使い、対立・係争を平和的に解決するための手法。
- 公共政策過程における説明責任と、政策や政府運営におけるパフォーマンスについての理解。
- 公共セクターにおける管理職や政策アナリストが果たす役割についての理解。
- 公共政策過程や公共セクターの経営において、NGO など政府以外の個人、団体等が果たす役割についての理解。

スキル

- 公共経営、公共政策に係る知識
- 公共経営、公共政策に係る分析的な文章作成スキル
- 公共経営、公共政策の学術研究を理解し、自分の言葉で要約し、さらに批判的に検討する能力
- 政府内での政策形成過程や市民との討議で必要とされる、議論を有効かつ円滑に進めるスキル(いわゆるグループファシリテーション)
- 公共経営、公共政策について、プレゼンテーションをはじめとする人前で論理的に話すスキル
- 国や地方政府が直面する、公共経営、公共政策に係る問題について、批判的に検討・議論する能力

学術的態度

- 公共サービスの観点から、公共経営や公共政策の諸問題について検討する心構え。
- 公共政策に係る情報提供や分析に貢献する心構え。
- 公共経営、公共政策過程における倫理的な諸問題についての理解。